

様々な医療施設様で

RhoOBA(ルーバ) が

活躍しています！



輸血管理システム

活躍シーン紹介

RhoOBAを院内業務の中で上手に利用することで、たくさんのメリットをご享受いただけます。

Case. 1 A 大学付属病院 様

随所で光るルーバの「チェック機能」。
担当者の精神的な負担が和らぎ、職場に活力が蘇りました。

今までは、移植時の血液型管理を人が紙に書いて運用していましたので、記載ミスしていないか当直者がすごく不安がっていました。当直時間帯では不慣れな人も操作することになりますが、輸血業務は安全・確実は絶対条件です。

ルーバでは、製剤確保や出庫時に血液型や不規則抗体等の多彩なチェックを自動で行ってくれることはもとより、移植時の血液型チェックも行ってくれるのでとても安心です。

また、移植時血液型としてドナー血液型・レシピエント血液型の組み合わせテンプレートを選択するだけで移植時の血液型を登録でき、人為的ミスを防げるようになりました。もちろん、割付・出庫時も移植時血液型でチェックできて安心です。

精神的な負担が緩和されて、職場がとてもいい雰囲気になっていますね。

システムで色々と
チェックしてくれるから
安心ね。



不安感から
解放されて、みんな
明るくなった感じ！



Case. 2

B病院 様

システムから出されるアラートって意外と気づきにくいんですよね。その点、ルーバでは色々な工夫がされてて、もう手放せません。

当院では検査科と輸血室が離れていて、システム導入すれば輸血室にいても輸血剤の緊急依頼がシステムのわかるようになるのは当然なのでしょうが、業務に集中していると、アラートにはなかなか気づかないものなんです。

ルーバでは色々な工夫で「気づかせる」ことへの配慮がなされていて大助かりです。気づかなければアラートの意味がありませんからね。

特に緊急依頼が多い当直時間帯では、ホントに役に立ちますね。辛い所に手が届いてくれててありがたいです。



「気づかせてくれる」
ってものすごく大事！



Case. 3

C病院 様

とっつきやすくて、更に使いこなせば奥深い。使うほど便利になるから色々なアイデアを試せますね。

製剤の指示は1画面にまとまっていて、操作部分が明確になっているので当直担当者でも、簡単に使えて助かっています。

また、熟練者が使う検索画面では、「条件の埋め込み機能」があることでとっても使い勝手がいいですね。

データ抽出機能では、自分で試行錯誤を自由にできますから、どこまでも掘り下げていくことができいいですね。

使えば使うほど色々なアイデア試したくなります。こういう道具っていいですね。

業務に慣れてなくても
わかりやすくて
とっても助かる！



どこまでも掘り下げて
使い易くできるから
うれしい！



◆他にもこんなお声をいただいています！

- ・幹細胞の入出庫及びフリーザラック管理がシステムでできて超便利！
- ・輸血アンケートに対応した統計があるので、統計が楽々作成
- ・オネストさんは、輸血管理システムだけではなく、病院全体の運用を考えた提案をしてくれるので、安心

オネストメディカルシステムシリーズに関する情報

WEBサイト：<http://www.honest.co.jp>

メール：eigyo@honest.co.jp

株式会社オネスト

本社 / 〒170-6038 東京都豊島区東池袋3-1-1 サンシャイン60 38階

